

理 科(科学と人間生活)

履修単位	3 単位	学年	2 年	学科・コース	商業科	区分	(必修)・選択
------	------	----	-----	--------	-----	----	---------

1. 学習内容と学習目標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に関する興味・関心を高める。

2. 教材等

教科書：実教出版 科学と人間生活 新訂版

副教材：実教出版 アクセスノート 科学と人間生活 改訂版

3. 年間学習計画

学期	学習内容	月	学習のねらい	備 考 (特記事項や他教科との関連等)	考査範囲等
一 学 期	第1章 科学と技術の発展	4	科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献したかについて理解する。		中間考査
	第3章 生命の科学				
	1節 生物と光	5	光のエネルギーを使った光合成の産物は、直接・間接に他の生物のエネルギー源となる。光のエネルギーが生物界を支えているともいえる。また、1日1年を周期とする日照の変化は生物の生活に影響を与えている。生物と光のかかわりについて学習する。		
	光合成 光合成と光の色 光の強さと光合成速度 植物の生育と光 動物の行動と光 ヒトの生活と光 眼の構造とはたらき	6			
	第4章 光や熱の科学	7	私たちの身のまわりには、熱やエネルギーのかかわるさまざまな現象が起こっている。		期末考査
	2節 熱の性質とその利用 ものの温度 熱平衡				

《提出物》

授業用ノートおよび定期考査の訂正をしたノート

《1学期の学習状況の評価方法》

1学期に行われた考査の成績(中間・期末)、ノート、授業態度を総合的に判断し、評価を行う。

二 学 期	熱容量・比熱	9	熱やエネルギーにはどのような性質があるのだろうか。これらの性質を知ることにより、熱やエネルギーを利用した技術のしくみなどについて学習する。		中間考査
	仕事と力学的エネルギー 熱、仕事とエネルギー エネルギーの変換と保存 不可逆変化と熱機関 エネルギーの利用	10			
	第5章 宇宙や地球の科学				
	2節 身近な自然景観と自然災害	11	日本列島は、ユーラシア大陸の東縁、太平洋の西岸に位置する列島である。緑や水にあふれ、四季の変化に富んだ自然は、私たちの生活に多くの恵みを与えてくれる。しかしときには災害をも、もたらす。このような日本の自然と私たちの生活との関係について学習する。		
	自然景観のでき方 地域の変化 日本列島を作った作用 日本列島の特徴 火山のしくみと災害 地震のしくみと災害 気候のしくみと特徴 気象の恵みと災害	12			期末考査

《提出物》

授業用ノートおよび定期考査の訂正をしたノート

《2学期の学習状況の評価》

2学期に行われた考査の成績（中間・期末），ノート，授業態度を総合的に判断し，評価を行う。

三 学 期	第2章 物質の科学 1節 材料とその再利用 物質のなりたち 金属の用途と製錬 金属の結合と特性 プラスチック プラスチックの構造 プラスチックの合成と用途 広がりをもつプラスチック セラミックス	1 2 3	私たちの身のまわりには，自然界で産出したままの物質や，人工的につくられた物質が存在している。人間生活では，種々の物質を材用として多様な性質をもつ物質を作り出し，利用している。金属・プラスチック・セラミックスなどについて学習する。 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえてこれからの科学と人間生活とのかかわり方について考察する。	学年末考査
	第6章 これからの科学と人間生活 これからの科学・技術と人間			

《提出物》

授業用ノートおよび定期考査の訂正をしたノート

《3学期の学習状況の評価》

3学期に行われた考査の成績（学年末），ノート，授業態度を総合的に判断し，評価を行う。

《年間の学習状況の評価方法》

学習状況は，後に示した4観点から評価した1学期の成績，2学期の成績，3学期の成績を総合的に判断し，年間の学習成績として評価します。

4. 評価の観点と趣旨

評価の観点と趣旨		評価方法
関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち，意欲的にそれらを探求するとともに，科学的態度を身に付けている。	考査，授業態度
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験などを行うとともに，事実を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして問題を解決し，事実に基づいて科学的に判断する。	考査，観察・実験
観察・実験の技能	観察，実験の技能を習得するとともに，自然の事物・現象を科学的に探求する方法を身に付け，それらの過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	考査，観察・実験
知識・理解	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	考査

5. 授業を受ける際の注意事項等

- ・教科書やノートを忘れない。
- ・日々の宅習は復習中心でかまわない。予習は次時の教科書を読む程度でよい。
- ・授業の理解度を見るために小テストを行う時があるので，行われた場合はやり直しをしっかりと行うこと。
- ・実験を行うときは，事前の指示に従って注意深く操作を行い，各自危険防止に努めること。